

平成30年度 学校経営計画 足立区立入谷学校

学校長 灘山 裕子

1 学校教育目標

進んで自らをきたえ、互いに協力して社会の発展に尽くすことのできる人間を育てる

- 1 自ら学び、深く考える人。2 きまりを守り、思いやりのある人。3 体をきたえ、ねばり強い人。
教育方針 おもてなしの笑顔あふれる、生徒一人ひとりの居場所がある学校

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○おもてなしの心で明るく笑顔をあふれる学校 ○規律ある、安全・安心な学校 ○自分の居場所がある学校
○児童・生徒像	○自ら学ぶ、自ら行動する生徒 ○おもてなしの笑顔で挨拶がかわせる生徒 ○自己肯定感と自尊感情が高い生徒
○教師像	○学ぶ意欲を引き出し、深く考えさせる授業を実践できる教師 ○常に危機感を持ち、課題解決に向け、組織的に行動できる教師 ○公平・公正で保護者・地域から信頼される教師 ○自己の授業力向上を常に目指し、日々研修・研究を実践する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

学校について

[よさ] 先生と生徒の関係が良好で、わかりやすい授業を展開している。大変お落ちついた学校である。

[課題] 学習や行事活動において、互いの意見を交換するなどコミュニケーション力の育成が必要。

生徒について

[よさ] あいさつができ、頑張ろうという意欲がある生徒が多い。

[課題] 学習に対し自信をもって、意見を発表できる生徒の育成。

教師について

[よさ] 個々の生徒の状況に応じた丁寧な指導を常に行っている。

[課題] 新たな教育課題に対し、自己研鑽し組織的に教育活動が出来るようにすることが必要。

保護者・地域について

[よさ] 学校行事等教育活動に協力的である。また、地域は個人面接官など学校教育に協力的である。

[課題] 家庭学習に対して関心が薄い。今後協力を求めていく。学校公開日等の参加者を多くしていく。

【前年度の成果と課題】

成果 ○生徒会活動が自主的に行われ、生徒会朝礼が充実した。(先生講話・校歌斉唱など)

○語彙力の育成として朝学習時間を5分延長したこと語彙に関心が広まった。個別指導わくわくクラブ結成し、丁寧な個別指導ができた。

○食育として、養護教諭と栄養士による指導を保護者・地域へも発信できた。残菜率3%

○人権教育として、オリ・パラ教育のパラリピアンや講師による講演で、人権について深く学んだ。

○文科省委託事業 体験活動推進プロジェクトに参加、学習や運動体験、学校・地域行事へのボランティア活動、自然体験活動を積極的に行う生徒が増えた。(参加率52%)

課題 ○個々のコミュニケーション力の育成

○語彙力の育成を継続し、朝学習や補習・放課後教室の指導体制を再編成する。

○心の教育として、いじめや不登校生徒の支援をさらに関係機関も含め、深めていく。

○オリパラ教育を学校として、意識できる活動を進めていく。

○保護者・地域の協力をもっと得られるよう情報発信をしていく。

4 重点的な取組事項

番	内容	実施期間
---	----	------

号		28	29	30	31	32
1	基礎学力の定着と課題解決力の育成 (足立スタンダードの実施及び主体的学び、対話的学び、深い学びの実施)		○	○	○	○
2	心の教育 一人ひとりの居場所がある学級・学年 (道徳教育の充実と自己肯定感と自尊感情の大会生徒の育成)		○	○	○	○
3	オリンピック・パラリンピック教育の充実 (世界を視野に入れる生徒の育成)	○	○	○	○	○

5 平成30年度の重点目標

重点的な取組事項－1		基礎学力の定着と課題解決力の育成 (足立スタンダードの実施及び主体的学び、対話的学び、深い学びの実施)	
A 今年度の成果目標		平成30年度区学力調査 目標通過率(学校平均)	
言語活動の充実(語彙力の育成)と深い学びへの指導の工夫		三教科通過率 60.1%	
B 前年度の取組み内容			
項目		具体的な方策	
言語活動の充実(語彙力の育成)		①朝学習で語彙力アップ 朝学習時間を15分間とし、漢字・読書・英単語・四字熟語など計画的に実施。まとめ小テストで確認 ②朝礼校長講話のまとめ・感想文書き ③帰り学活における一日のまとめ デイリーライフ、2行日記 ④読書週間を活用し、図書館の利用率を向上(2回) ⑤百人一首大会(校内大会、区大会) ⑥漢字検定、英語検定への受検	
わくわくプロジェクトの実施		①三者面談期間と定期考査期間の活用 ②個別指導の対象生徒を区学力調査の自校採点により選出し、「わくわくクラブ」を実施(英語・数学) ④自主学習教室「夕焼け教室」の充実	
英語授業の充実		①習熟度別少人数を計画的に実施。 ②教科専門指導員や指導室による支援指導 ③放課後英語「わくわくクラブ」 ③「書く、読む、話す」の繰り返し指導 ④連合英語への参加 ⑤小学校への出前授業 1回	
活気ある授業展開		①足立スタンダードに基づく、板書計画 ②図書館の授業での活用 ③教育機器の活用 ④対話的学習の実施(3人組・4人組・6人組) ⑤「授業規律五ヶ条」の実行	
授業力向上		①足立スタンダードによる授業展開の実施。板書の統一(めあて・まとめ) ②教科指導専門員を活用し、英数国の授業改善と他の教科との指導連携の徹底 ③小中連携による指導案検討、授業観察、研究授業、研究協議の充実(6回) ④アクティブ・ラーニング型授業に向けての校内研修(6回)	
C 前年度の成果と課題			
成果 ○語彙力の育成は、言葉をたいせつにする生徒が多くなった。 ○個別指導わくわくクラブ結成は、教員の意識改革に繋がった。			
課題 ○語彙力の育成を継続。朝学習で国語を中心とし、年間計画を立てる。補習・放課後教室の指導体制を個別とグループの指導体制を再編成し、成果が結果に結びつける工夫をする。 ⇒わくわくプロジェクトを全体の見直し 「朝学習内容」「わくわくクラブ」 ○主体的な学び、対話的な学び、深い学びの育成に、個々の研修を指導する共に、組織として教育活動が出来る様にする。 ○小中連携も含め、新学習指導要領の移行期間を計画的に進めていく。			
D 今年度の目標実現に向けた取組み			
項目		達成基準	
		具体的な方策	

朝学習	正答率 70%以上	別紙 平成30年度 学力アクションプラン 入谷中わくわく学習プロジェクト参照
わくわく補習教室	正答率 60%以上	
夕焼け教室	正答率 75%以上	
サマースクール	正答率 75%以上	
わくわくクラブ	正答率 70%以上	

重点的な取組事項－2	心の教育 一人ひとりの居場所がある学級・学年 (道徳教育の充実と自己肯定感と自尊感情の大会生徒の育成)
-------------------	--

A 今年度の成果目標	達成基準
○自分の良さを発見するとともに、生徒一人一人が能力を発揮し自己実現を図る。 ○生徒から考える「命」の大切さ	○学校評価 満足 80%

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
道徳授業の充実 「考え、議論する道徳」	○学校評価 満足 80% ○挨拶を自分からする生徒 70% ○感想文	①道徳教育アーカイブの活用 ②心のノートの活用 ③いじめアンケートの情報を共有。組織的支援・指導の徹底。「いじめは絶対にだめ」を丁寧に指導。思いやりの心を育成 ③道徳授業地区公開講シンガーソングライターによるライブ公演(7月) ④「命の大切さ」関係の講演1回
教育相談の充実	○学校評価 満足 80% ○教室に居場所がる 80%	①SCによる4月～5月1年生全員面接。 ②校長面接5月～7月1、3年生全員。 ③全教員による教育相談(3回) ④週1での特別支援委員会で情報共有 ⑤週1での生活指導部会で情報共有 ⑥構成的エンカウターの校内研修
心が語れる学級・学年づくり	○学校評価 満足 80% ○デイリーライフ提出率 80%	①QUテスト年2回実施。 ②QU講習会およびテスト結果分析(2回)→校内研修で情報の共有 ③週1回特別支援委員会実施。情報の共有と支援生徒の確認及び具体的支援の検討 ④「学級運営」の研修(1回) ⑤目的を明確にした学年行事の運営(事前学習・発表を含めた事後学習)
小中連携行事の充実	○学校評価 満足 80% ○協議会での活発な意見交換	①「1days中学生」7月実施(入谷小) ②小学生体験学習7月(舎一小) ②小中合同避難訓練10月実施(入谷小) ③夏季学習ボランティアの派遣(入谷小) ④小学校運動会ボランティア参加(入谷小) ⑤出前授業の実施[英語・保健体育](入谷小)
体験活動の推進	○学校評価 満足 80% ○体験活動 参加率 80%	①学習・運動活動、ボランティア活動、自然探究活動に挑戦7月～12月 ②体験活動ノート記録5月～2月
生徒会活動の充実	○学校評価 満足 80%	①生徒会朝礼「先生の講話」(10回) ②朝のあいさつ運動 ③ボランティア清掃活動 ④花植え活動 ⑤学級委員会によるキャンペーン実施 授業規律五ヶ条 6月・9月・1月 生活規律五ヶ条 5月・7月・2月 ⑥文化祭、生徒会交流会参加
コミュニケーション力の育成	○学校評価 満足 80%	①校長面接 1年5月、3年6月 ②集団討論練習 3年12月 ③個人面接練習(地域人材活用) 3年1月

重点的な取組事項－3	オリンピック・パラリンピック教育の充実 (世界を視野に入れる生徒の育成)	
A 今年度の成果目標	達成基準	
2020年に行われる「東京オリンピック・パラリンピック」を自分たち世代の大きなイベントとして捉えさせ、世界の中の日本人としてのグローバルな思考を身に付けさせる。	○学校評価 満足 80% ○オリ・パラコーナーの展示	
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
世界のスポーツ・文化探究	○学校評価 満足 80%	①オリ・パラコーナー設置。 ②日本文化の体験(琴・三味線・茶道等) ③1学級1国調べ学習 ④オリ・パラ学習ノートの活用。 ⑤アスリートによる体験学習(1回)
体力向上 自分から考える健康	○学校評価 満足 80%	①一校一取組の徹底 体育科を中心に運動部においても、準備運動や補強運動を工夫 ②体力テスト「投力」指導工夫 ③体力テストの分析・活用
「食育」活動	○学校評価 満足 80%	①給食指導の徹底 4月 ②保護者会とでの説明会 ②栄養士、養護教諭による授業実施 ②給食試食会 1回 ③保健給食委員会による文化祭発表
保健体育の授業の充実	○学校評価 満足 80%	①スポーツの国際的ルールと授業でのルールの違いを学ぶグループ学習。 ②スポーツの歴史や国の事情等の調べ学習。社会科と連携し指導を行う。 ③記録会等の生徒による運営 ④パラリンピック競技の体験 シッティングバレーボール